

# アカデミアとの連携策検討に向けた 学会等のヒアリングについて

事務局作成

2023年10月30日

# 学会等のヒアリングの全体像

## 【目的】

経済産業省の日本産業標準調査会において、令和4年4月5日から令和5年5月31日まで開催された基本政策部会及び令和5年6月15日に開催された総会にて出てきたアカデミアに関する資料内容及び委員の発言について、検証を行い、横展開すべき事例と課題及び課題への方策を検討すること

## 【ヒアリング対象及びスケジュール】

### 1. ISO及びIECの国内審議、JIS原案作成を実施している学会

現在実施中（～11月）。約20学会。標準化の活動概要、学会内の普及、人材育成等のヒアリング

### 2. 間接的または潜在的に標準化（ルールメイキング、ルール活用も含む）との連携が想定される学会

今後実施（11月～12月）

### 3. 個々のアカデミアの方々

現在標準化に直接または間接的に携わっているアカデミアの方々。今後実施。

# 1. ISO及びIECの国内審議、JIS原案作成を実施している学会

公開情報を基に以下の学会をリストアップし、関係者との調整の上、ヒアリングを実施中

学会名	標準化活動
エネルギー資源学会	
人工知能学会	JTC1 SC42関係
電気学会	IEC TC2,4,8,10,11,13,14,15,17,22,27,28,32,33,36,37,38,42,57,66,68,73,77,78,85,95,106,109,112,114,115,120,122,123,129の国内審議団体
空気調和・衛生工学会	JIS原案作成団体
高分子学会	ISO/TC266(バイオミメティクス)国内審議団体
自動車技術会	ISO/TC22、TC204の国内審議団体、独自の標準規格(JSAO規格)を策定
照明学会	照明関係のJISの原案作成団体
地盤工学会	ISO/TC182,190,221国内審議団体
電気設備学会	JIS原案作成団体。IEC SC23A、TC79, TC81及びSyC低圧直流給電システムの国内審議団体
電子情報通信学会	IEC TC46, TC49, TC86, TC91(WG13,15), TC103の国内審議団体
土木学会	ISO/TC113国内審議団体
日本コンクリート工学会	ISO/TC71国内審議団体、JIS原案作成団体
日本音響学会	ISO/TC43/SC2(建築物の音響)国内審議団体、JIS原案作成団体
日本火災学会	JIS原案作成団体
日本義肢装具学会	ISO/TC168国内審議団体
日本建築学会	独自の標準規格JASS(建築工事標準仕様書)を策定、JIS原案作成団体
日本原子力学会	ISO/TC85及びISO/TC85/SC5国内審議
日本材料学会	ISO/TC 164/SC 4、JIS原案作成団体
日本铸造工学会	JIS原案作成団体
日本品質管理学会	品質マネジメントシステムに関する団体標準としてJSQC規格を開発
日本木材学会	JIS原案作成団体
一般社団法人 地理情報システム学会	ISO/TC211

# 1. ISO及びIECの国内審議、JIS原案作成を実施している学会

以下の質問事項を事前にヒアリング先の学会へ送付し、主にWeb会議にて回答を頂いている

- どのようなきっかけで国際標準化に取り組むようになったのか。
- 取り組みの中心は企業会員？ アカデミア会員？
- 国際標準化活動にかかる学会会員へ普及啓発活動
- 国際標準化活動にかかる資金の現状（標準化に特化した会費の有無等）
- 国際標準化活動に携わる会員の選任の仕組み
- 国際標準化活動に携わる会員のバックアップ（事務局体制も含めて）
- 現在の国際標準化活動を維持（あるいは強化）していくための取り組み
- 現在の国際標準化活動に関する会員（組織、個人両方）の理解度（及び理解を得るために活動の現状）
  - \* 理解を得るために活動を特段行っていなかった場合、学会誌への特集記事の掲載や学会でのセッション開催などについて実施する可能性はあるか。
- 国際標準化活動に関する人材育成の現状。後進育成を組織的に行っているか
  - \* どのように？ 後進育成は属人的か→どのように？
- 国際標準化活動に関する学会の位置づけ
  - 何等かの評価を得ているのか、得ているとしたらどのようなものか
- 研究開発成果の出口としての国際標準化活動にかかる学会の方向性
- 国際標準化活動のネックとなっている課題、この課題解決に経産省（あるいは国として）に期待するところがあるか
- 先端技術、分野横断的（複数以上の組織にまたがる技術）なテーマにかかる国際標準化活動に関する対応
- 関係工業会（業界団体）との関係

# 1. ISO及びIECの国内審議、JIS原案作成を実施している学会

現状、ヒアリングにて得られている回答の概要

【取り組みの中心は企業会員？アカデミア？】

- ・標準化活動に特化した会費で実施している学会では、企業会員が中心。
- ・通常の学会会費で実施している学会では、アカデミアが主導、または関係国研が主導。
- ・経緯上、国際標準化活動を実施している学会では、会員以外の企業、アカデミアも参加。

【国際標準化活動にかかる学会会員へ普及啓発活動】

- ・学会の全国大会でのディスカッションセッションを実施
- ・学会における特定テーマにかかる討論会、研究会で定期的に国際標準化活動を報告
- ・学会誌に活動状況を掲載
- ・標準化に特化した学会誌を年1回発行

【国際標準化活動にかかる資金の状況】

- ・標準化活動に特化した会費を収集
- ・関係工業会からの委託
- ・経産省からの委託費（プロジェクトもの、旅費支援）
- ・通常会費

# 1. ISO及びIECの国内審議、JIS原案作成を実施している学会

現状、ヒアリングにて得られている回答の概要

## 【国際標準化活動に関する人材育成の概要】

- ・企業、研究機関の若年層は「標準化」をほとんど知らない。大学教育の中に含めるべき。
- ・標準化関係の委員会の委員長等の後継人材は「属人的」に行われている。
- ・可能な範囲で国際標準化活動の主体者を一世代若返らせる試み
- ・標準化関係の委員会では国研出身の方がメンバーに入り会議を牽引するケースもある

## 【アカデミアの方々の国際標準化活動に関する評価】

- ・現段階ではアカデミアの方々の学術評価は主に論文の質と数。ISO、JISの活動（委員会活動）は学術評価の対象になりにくい。
- ・現在国際標準化活動の中心に位置づけられるアカデミアの方々は過去の経緯上活動
- ・国際標準化そのものではないが、学会基準にかかる活動は評価の対象となっている。